

京都・福知山

ふくふく暮らしな人々



駿河 彰宏さん (Suruga Akihiro)

29歳 / 福知山市在住 / 福知山市出身

高校卒業後神戸の大学へ進学し、その後、大阪で写真関係の営業職として働いていたが、「将来は福知山へ戻ろう」という思いを持っていた。

2016年に地元紙 両丹日日新聞社の採用が決まったのを機に福知山へUターン。

VOL
20

平成30年(2018年)
6月発行

「ふくふく暮らしな人々」は、福知山へ移住された方の福知山での暮らし（ふくふく暮らし）を紹介しています。



▲ 仕事（取材）風景

① 移住（Uターン）した理由

大阪で働いていましたが、30代頃には地元福知山に戻りたい気持ちがあり、両親から地元の求人情報を送ってもらっていました。そんな中で両丹日日新聞社の社員募集が数年ぶりに行われていることを知り、試験を受け採用されたので、26歳（当時）で福知山市に帰ってきました。

② 福知山に移住（Uターン）して感じたこと

大阪での暮らしと比べて福知山にはゆっくりとした時間の流れがあり、やすらぎの時間があることに気づきました。お盆や正月に一時的に帰省していましたが、8年ぶりの福知山市は「ゆらのガーデン」ができ、活気あふれる景色へガラリと変わっていて驚きました。

③ 現在の活動

記者としてスポーツを担当しています。福知山市で頑張っている人やキーパーソンを取材し、みんなに伝える仕事にやりがいを感じています。

④ 夢とチャレンジ

高校時代はサッカー部でした。今、ヴィッセル神戸で頑張っている同級生の活躍が私にチャレンジする勇気をくれます。

まずは、今年は舞鶴に行って、大学時代にしていたサーフィンを久しぶりにしようかと思っています！



▲ サッカーに明け暮れた高校時代

⑤ 福知山の魅力・オススメスポット

- ① 焼肉が大好きなのですが、福知山には焼肉店がたくさんあり食べ比べできるのが楽しいです。
- ② ショッピングやお食事ができる「ゆらのガーデン」もおすすめスポットです。すぐ東側に福知山城があり、景色も抜群です！
- ③ 趣味でランニングをするのですが、音無瀬橋から見る夕焼けはすごく綺麗です。

⑥ 移住を考えている人に一言

福知山はアットホームな人が多いと思います。積極的に頼って、助けてもらおうと思いますよ（笑）